

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|--------------|---|
| 承認番号 | 17067 |
| 課題名 | デスフルランの有効性の検討 |
| 研究期間 | 倫理委員会承認日 ～ 2022年 6月 1日 |
| 研究の対象 | 当院で2011年7月から2022年6月までに全身麻酔を受けられた方 |
| 利用する試料・情報の種類 | <p>■診療情報（詳細：年齢、性別、身長、体重、心拍数、血圧、呼吸回数、動脈血酸素飽和度、術前採血・心電図・呼吸機能検査結果、病歴、既往歴、手術歴、麻酔歴、病名、手術術式、手術中脳波、使用した麻酔薬の濃度、麻酔時の使用薬の種類と量、麻酔時間、手術時間、術後酸素使用量、術後呼吸回数、人工呼吸器設定の値、術後飲水・食事開始時間、術後歩き始めた時間、術後吐き気の程度など）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p> |
| 研究の意義、目的 | <p>デスフルランは2011年に日本で発売開始となった薬で、全身麻酔を行うための鎮静薬として使用する薬です。諸外国ではすでに20年以上使用されている薬で、日本では遅れて発売となりました。デスフルランは、他の麻酔薬と比較して麻酔からの覚醒・麻酔からの回復が早いことが特徴です。さらに体の中でほとんど代謝されずに排出されるので、肝臓や腎臓の機能が低下している患者さんに対しても使用しやすく、代謝産物による毒性のリスクが低いといわれています。しかし、日本においてははまだ使用経験は少ないです。この研究では、当院で全身麻酔を施行された患者さんのカルテから必要なデータを解析し、デスフルランと他の全身麻酔薬について比較検討を行います。</p> |
| 研究の方法 | <p>当院で全身麻酔を受けられた患者さんのカルテから、手術中に使用した薬の種類や量、手術中の血圧などのデータ、麻酔から覚醒するまでの時間や、手術の後使用した酸素の量、飲水開始・食事開始・歩行開始までの時間などのデータを集めて、デスフルランと他の全身麻酔薬について比較検討を行います。</p> |
| その他 | <p>本研究に団体・企業などは関与しない。</p> |
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 住所：〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 所属：旭川医科大学病院 麻酔科蘇生科 研究責任者：小野寺 美子 電話番号：0166-68-2583</p> |